



# かたくり



令和4年度  
第4号

2022. 4. 22

学校教育目標

夢ふくらませ 心かがやく

## 「かたくりの花」を見学しました！ ～1,2年生活科～

20日に、1年生と2年生が生活科のフィールドワークとしてかたくり群生の郷を訪れ、穏やかな春らしい晴天の下で、見頃を迎えた「かたくりの花」を見学してきました。

今年度も、赤倉さんから、わかりやすく説明していただきました。そして、子どもたちの質問にも丁寧に答えてくださいました。

『くりっこ』の名称の由来の一つである「地域の宝物」を間近に見ることができ、子どもたちは大満足でした。赤倉さん、本当にありがとうございました。

※1年生から「なぜここにたくさん咲いているのですか？」という質問もありました。それに関わる伝説が、かたくり館HPで紹介されていたので、裏面に掲載させていただきました。辰子姫伝説に関するものです。ご家庭でも、子どもさんと話題にしてみてください。



## 交通安全教室を行いました！



朝方まで雨が降り、外での実技練習ができるか心配されましたが、今日、無事に交通安全教室を行うことができました。

交通安全協会の皆様に自転車を点検していただき、駐在さんから自転車乗りや歩行の安全のためのポイント（下表参照）についてのお話を聞いたあと、いよいよ実技練習です。

みんな、真剣な表情で取り組んでいましたが、見られているという緊張感からか、横断歩道での安全確認や自転車での後方安全確認を忘れる子どもも見られました。

実技練習終了後のおわりの会では、「右、左、右の安全確認をしっかりとできました。」「練習したことを、これからもしっかりとやっていきます。」などの感想が発表されました。また、

駐在さんや交通安全協会の皆様からも、子どもたちがしっかりと練習に取り組んでいたとお話ししていただきました。

ご指導くださった駐在さん、交通安全協会の皆様、そして、自転車運搬などご協力くださった保護者の皆様、本当にありがとうございました。

### 【自転車乗りのポイント】

後方の安全確認後に発進する。  
左側通行、左からの乗り降り。  
曲がり角では必ず止まる。  
横断するときは押して渡る。

### 歩行のポイント】

右側通行。  
横断の際、必ず自分の目で右、左、右の安全確認をする。

## 辰子姫の涙とかたくりの花

秋田県には十和田湖・八郎瀉・田沢湖の風光明美な湖がある  
これらの湖を舞台に壮大なスケールで展開されるのが三湖伝説である

十和田湖の覇権を懸けた南祖坊と八郎太郎との死闘  
打ち負かされ十和田湖を追われて八郎瀉を作った八郎太郎  
辰子姫をめぐる二人の再度の戦いに勝利した八郎太郎は  
辰子姫の住む田沢湖に冬の間だけ移り住むことになる  
龍神伝説としての三湖伝説は自然現象や災害なども集約され  
その土地に伝わる諸説も組込んで展開される一大絵巻であるが  
外伝としての辰子姫の涙とかたくりの花伝説を知る人は多くはない

秋田県内陸中央部の北浦郷（現在の仙北市西木町）に八津野岱がある  
八津野岱は谷あいの急峻な流れが緩やかになって平野に注ぎ出る場所に位置し  
南方には広大な仙北平野の田園風景を眺望する自然豊かな台地である  
八津野岱地域の特産は大きさ日本一といわれる西明寺栗なのだが  
20ヘクタールを超す広大な栗園に咲き乱れるかたくりの大群生も日本一  
紫の絨緞を織りなすように咲くそれは雪国の早春の一大風物詩でもある

八郎太郎は霜月九日に雄物川・玉川・桧木内川を遡り  
八津野岱から瀉尻川通って辰子姫の住む田沢湖へと向かうことになる  
八郎太郎と辰子姫の半年間の燃えるような情熱は  
湖面を凍らせることなく水深も増し日本一の深さを誇るまでになった  
しかしながら楽しく暮らす冬の季節はまたたく間に過ぎて  
水温む四月中旬になると八郎太郎は八郎瀉へと帰ることになり  
別れを惜しみながら後ろ姿を見送る辰子姫の姿が八津野岱にあった  
悲しみに暮れる辰子姫は八津野岱から南を見つめながら  
八郎太郎への思いを一層募らせ三日三晩泣き明かしたという  
流した涙が八津野岱を覆い尽くして  
そのあとは一面のかたくりの花の絨緞になっていた  
辰子姫の悲しみを癒やしてあげようとした八津野岱の住民は  
かたくりの花を愛しみ丹精込めて守ってきた

八津野岱は日本一のかたくりの群生地として広く公開され  
辰子姫・かたくりの花ファンはもとより  
初恋成就の聖地として 恋人たちのパワースポットとしての人気を博し  
かたくりの開花する四月中旬から五月上旬には全国から多くの人を訪れる

《三湖伝説外伝》